

「洛西ニュータウンアクションプログラムの策定に向けて」に対する 意見募集結果報告資料

1 意見募集の目的

「洛西ニュータウンアクションプログラム」の策定に当たっては、これまでから洛西ニュータウンアクションプログラム検討会、各WGでの議論のほか、洛西ニュータウンアクションプログラムまちづくりトークや、洛西ニュータウンまちづくり通信の発行を通じて広く御意見をいただいていたが、改めて、検討状況を広く住民の皆様にお伝えするとともに、これに対する御意見を頂戴し、「洛西ニュータウンアクションプログラム」策定の参考とするため

2 配布資料及び対象

洛西ニュータウンまちづくり通信第4号として、洛西ニュータウンを含む西京区役所洛西支所管内の全戸に回覧

※ 資料は、ホームページ京都市情報館に掲載したほか、西京区役所、西京区役所洛西支所、京都市住宅供給公社洛西事業部、京都市役所都市計画局都市企画部都市総務課等において配架

3 意見の募集期間

洛西ニュータウンまちづくり通信第4号の回覧実施（平成28年12月10日前後に開始）から平成29年1月10日まで

4 応募（募集）方法

洛西ニュータウンアクションプログラム検討会事務局に対して、持参・郵送・FAX・メールにより御提出いただいた。

5 集約結果

別紙「集約結果」のとおり（意見総数 36人、延べ79件）

- 集約結果の分類としている方針は、資料2-1及び資料2-2洛西ニュータウンアクションプログラム（案）の方針と対応している。
- 「検討会（事務局）の考え方」に「◎」を付しているものは、「まちづくり通信第4号」時点においては、プログラムや検討中の取組例としては記載していなかったが、洛西ニュータウンアクションプログラム検討会、各WG等での意見等も踏まえながら、アクションプログラム（案）に新たに盛り込むなどして、今回募集した意見の内容が反映されているもの

【集約結果】

方針1 「子育て・若者世代を始めとした各世代が住みやすいニュータウンの基盤づくり」に係るもの 7件

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
1	<p>○ <u>既存活動団体との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 社協など現在地域福祉を担っているところとの関連は？ 	1	<ul style="list-style-type: none"> アクションプログラムに掲げる様々な取組（特に、テーマ7「高齢者・障害者に住みやすい生きがいがづくり」）については、社会福祉協議会等の団体と情報交換や事業の連携を図り、洛西ニュータウンの地域事情にあう形で、進めていきたいと考えています。
2	<p>○ <u>子育て・若者世代に魅力のある住宅の整備・流通等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯向け住宅の充実。多様な住宅の整備を。 子育て世代が魅力を感じるまちづくりを。 若い世帯の動向を踏まえた上で計画を。等 	5	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅のリノベーションにも引き続き取り組むほか、テーマ2「洛西ニュータウン住宅流通促進システムの構築」を盛り込み、子育て世帯等が良質な戸建て住宅等に入居できるような仕組みづくりに取り組んでいくこととしています。
3	<p>○ <u>良好な住宅地景観・住環境を守るための取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 良好な住宅地景観・住環境を守るため、住宅の建て替えに際してのルールづくりが必要。 	1	<p>◎ テーマ3として「良好な住宅地景観・住環境を守るための地域活動の推進」を盛り込むこととしており、既存の地区計画等と合わせて、今後とも、地域住民、事業者等が一緒になって地域の景観づくりを進めていけるよう検討していくこととしています。</p>

方針2 「生活・福祉など居住魅力を高めるサービスの向上」に係るもの 15件

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
4	<p>○ <u>子育て環境の充実や子育て世帯・若者の呼び込み，定住促進と子育て環境の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 保育施設等の充実 	6	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯の定住を図るためには、第一に「安心して子育て
5			
6			

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭の横のつながりができるような取組等、支援策の実施 ・ 子育て世代にとって、住まいの近くに仕事があるかどうかも大きな要素。大きな仕事でなくても、小さな仕事がたくさん生まれる取組を。 等 		<p>のできる子育て支援サービスの充実」（テーマ4）を図ることが必要と考えており、託児サービス事業の実施、病児保育サービス実施についての検討を進めるほか、子育て支援団体等と子育てファミリーとのマッチング支援により、横の繋がりができる取組を進めていくこととしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加えて、「子供達が健やかに育つ環境や学びの機会・魅力づくり」（テーマ5）とともに、「子育て中のママ・パパが持つスキルを社会とつなげる仕組みづくり」（テーマ6）を盛り込み、子育て中で一時離職・休業している方々がビジネスやボランティア活動を通して、社会的な役割を保ちながら楽しく子育てができるよう、環境整備を図ることとしています。
7 8	<p>○ <u>高齢者が住みやすいまちづくり、活躍の場づくり。働ける機会・場づくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一番大事で問題があると考ええる老人対策は、「長寿と健康のまち」のキャッチフレーズはよいが、緊急に対策をまとめてほしい。 ・ 移動が困難であったり、インターネットの使い方が分からない方々への対応充実 ・ 高齢者に住みよいまちに。例えば、ニュータウン内で花の植栽等を行い、その世話をしてもらうなどの生きがいづくりを。 ・ 洛西ニュータウン及びその周辺に働くことができる場づくり。 ・ 生活福祉をビジネスにするのはよくない。近所コミュニティの絆づくりを支援してほしい。等 	7	<p>◎ 高齢者を始めとした、現在ニュータウン内にお住まいの方の生活充実を図ることが、まちづくりにおいて重要との考えのもと、アクションプログラムを策定するとともに、今後の検討・具体的取組の推進を図っていきたいと考えております。</p> <p>このため、テーマ7において「高齢者や障害者の地域での生活を支える情報発信の充実」として、「様々な媒体を活用した高齢者の居場所、医療施設、介護保険等、高齢者の暮らしに関する情報や障害者の方の福祉サービス、相談窓口等の暮らしに関する情報の発信充実」、「高齢者の地域での新たな居場所づくりの検討」として、「空き家やサブセンター、商業施設の空き空間、身近な公園や緑道等、高齢者の「居場所」となる既存施設等の活用検討」を盛り込むなどしています。</p>

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
			<ul style="list-style-type: none"> 洛西ニュータウンにおいて、活動の場を地域に移される高齢者が更に増えることが予測される中、こういった方々に経験や能力、意欲を発揮していただける働く機会や場を提供する必要があると考えています。 <p>このため、テーマ8として「高齢者を始め地域住民がニュータウン内で働ける機会・場づくり」を盛り込んでおり、今後、更に検討を進めることとしています。</p>
ー	<p>○ <u>特に取組の客体として記載されていない属性の方々への対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 色んな困難さを持つ人も包摂したまちを目指すことが、多くの人にとって暮らしやすい街に。 取組で謳われている人（若年ファミリー層等）以外が、暗に排除されているような印象を受ける。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 御意見にありますとおり、洛西ニュータウンが様々な方にとって暮らしやすいまちとなるよう、今後も取組を進めていきたいと考えております。 <p>一方、洛西ニュータウンにおいては、現状として若年ファミリー層は急激に減少し、そして高齢者は増えています。まちの活力を取り戻すためには、若年ファミリー層の呼び込み・定住促進が不可欠であるとともに、高齢者が生き活きと生活される状況をつくるのが特に克服すべき課題であることから、これらに係る具体的な取組をアクションプログラムとして取りまとめようとするものです。</p>

方針3 「洛西ニュータウンの魅力充実と交流人口の呼び込み」に係るもの 14件

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
9	<p>○ <u>洛西ニュータウンや周辺地域の魅力の活用による交流人口の呼び込み、まちの賑わいに資するタウンセンターの充実等</u></p>	4	

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源の活用，交流拠点の設置充実による交流人口の呼び込みについては賛成。名所がたくさんあり，環境も良く中心部へも便利な割には，観光客のための施設がほとんどない。宿泊機能の拡充も必要。 ・ 夜に飲みながらまちづくりを語る場がニュータウン内にほしい。 ・ たくさんの人に来てもらい，もっとお店が増えて楽しい街にしてほしい。 ・ 阪急高架下プロジェクトは，洛西ニュータウン居住者には，何のメリットもない。 		<p>◎ テーマ9「洛西ニュータウンや周辺地域の魅力を活かした交流拠点機能の充実」として，洛西ニュータウンやその周辺にある魅力資源のネットワーク化を図るなどする取組により，交流人口の増加，観光客の増加を図り，まちの活性化を目指したいと考えています。この一環として，観光拠点機能の充実を図るため，洛西，大原野地域等の宿泊拠点となるホテルの誘致を進めることとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間イベントの開催等による，ニュータウンにおける夜の賑わいづくりなど，タウンセンターの更なる活用・活性化についても進めることとしています。 ・ また，「阪急高架下洛西口～桂駅間プロジェクト」を，高架下の賑わい創出に留まらず，洛西ニュータウンやその周辺の交流人口の増加，観光客の増加に繋げて，地域全体に相乗効果を生み出すことが必要と考えており，これに資する取組についてもテーマ9に盛り込むこととしています。
10	<p>○ <u>緑豊かな公園の再生と，これを利用したプレイパークの実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな緑が洛西地域の魅力である。これを更に高めるための取組を。 ・ プレイパークの運営を通じて交流が生まれるよう，常設化を目指してほしい。 ・ 緑道を整備し，公園や緑地の木台を利用したベンチ等を。 ・ 洛西にある公園は全体的に古びて暗いイメージ。プレイパークや竹林公園の新たな整備の前に，既存公園整備を。 等 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御意見にもありますとおり，豊かな緑が洛西ニュータウンとその周辺の大きな魅力となっており，これに更に磨きをかけ，活用を図るため，テーマ10として「緑豊かな公園の再生と新たな魅力創造による憩い・遊びの空間づくり」による憩いの空間づくりを盛り込んでいます。 <p>公園等の老朽化した設備の更新等を進めて，その再生を図るとともに，新たな取組として，公園を活用したプレイパークの開催や，竹林公園の更なる活用について，今後，住民の皆様に参加いただきながら，検討を進めていきます。</p>

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
1 1	<p>○ 生物多様性のあるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人が暮らすうるおいのある町，生物多様性を実感したい。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ1 1として「生物多様性に配慮したまちづくり」を盛り込み，貴重なニュータウンの財産である動植物を大切に，次世代へと引き継いでいく取組を進めていきます。
1 2	<p>○ サブセンターの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 更なるサブセンターの活用を要望。サブセンターと中央施設との連携を。 ・ サブセンター（境谷，竹の里）のスーパーがなくなって不便。せめてコンビニを設置してほしい。 ・ 日常的な買い物ができるよう，サブセンター店舗への支援・活性化を図ること。 	3	<p>◎ サブセンターを地域にお住まいの方の身近な生活拠点として有効活用を図る必要があると考えており，テーマ1 2として「サブセンターの有効活用」を盛り込んでいます。</p> <p>今後，サブセンター権利者・利用者アンケートを実施する予定であり，この結果を踏まえた有効活用方策について，具体的に検討していくこととしています。</p>

方針4 「イメージ戦略も含めた仕掛けづくりとポータルサイト等によるニュータウン情報の発信」に係るもの 4件

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
1 3 1 4	<p>○ ニュータウンの魅力情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NTを積極的にPRして売り込んでほしい。 ・ 積極的に活動しているまちとして，情報発信することが住みたいまちと思わせるきっかけになる。 ・ 公園も多いなど，環境面では優れている。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな自然環境や良好な景観，地域住民によるまちづくり活動の展開等，洛西ニュータウンの様々な魅力に，ニュータウン外の方にも気づいていただけるよう，イメージづくりやブランド化戦略に取り組むとともに，それらを基に流入促進につながるPR活動の推進を行っていくこととしています。
1 4	<p>○ ニュータウン内への情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり通信で初めてまちづくり活動があることを知った。今は私自身何もできていないが，子育てのことなど，できることから取り組みたい。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の皆様にまちづくりに興味関心をもっていただけるよう，また，アクションプログラムに掲げる取組の担い手となっただけの方が増えるよう，引き続き，まちづくり通信等により，ニュータウン内への情報発信を行うこととしています。

方針5 「洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討」に係るもの 13件

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
15	<p>○ <u>公共交通の利便性の向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洛西口駅・桂川駅ができて便利になった。バス停が家の近くにあってよく利用している。バスが空いていても本数を減らさないでほしい。 ・ 近々の取組として JR 桂川・阪急洛西口に市バスの増便を。桂駅からのバスの本数に比較して、洛西口駅からは少ない。福西地区は1時間に1便しかない。 ・ 交通費が高い。バス料金のサービスについて、老人に対し優遇しすぎでは。 ・ 地下鉄東西線の延伸。将来は地下鉄と言って40年が経過する。 ・ 循環するシャトルバスの運行、高速路面電車、モノレールも組み合わせた環状線づくりを。 等 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洛西地域における公共交通の利便性の向上については、これまでから、公共交通ネットワーク推進会議の洛西地域公共交通利便性向上 WG 等において、検討・改善が図られてきたところでは。 <p>アクションプログラムの取組としても、テーマ15において、「交通利便性と地域の魅力の向上につながる新たな公共交通システムの検討」を盛り込み、現居住者のニーズを踏まえながら、交流人口の呼び込みや定住促進も図れる交通利便性の更なる向上や、活性化の象徴となる新たな公共交通システムの導入について、今後さらに検討を進めていくこととしています。</p>
15	<p>○ <u>市営住宅の改善</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エレベーターをつけてほしい。 	1	<p>◎ テーマ15において、「安心・快適で住み続けられる市営住宅団地への再生の検討」を盛り込み、エレベーターや浴室のシャワーが無いなど、子育て世代や高齢者のニーズに対応しきれていない市営住宅団地における安心・快適に住み続けられる住環境の確保に向けて、民間事業者の取組事例なども参考にしつつ、団地再生の事業手法を検討していくこととしています。</p>
15	<p>○ <u>住まいの近くで働ける場づくりの検討</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洛西ニュータウン及びその周辺に働くことができる場づくり（特に子育て世帯や元気な高齢者）を充実させてほしい。 	4	<p>◎ テーマ15において、「洛西ニュータウンで住み・働く職住近接のまちづくりの検討」を盛り込み、洛西ニュータウンの魅力をもっと高めていけるよう、ニュータウンやその周辺におい</p>

テーマ	御意見要旨	件数	検討会（事務局）の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代にとって、住まいの近くに仕事があるかどうかも大きな要素。大きな仕事でなくても、小さな仕事がたくさん生まれる取組を。 等 		<p>て、良質な住環境の中で居住しつつ、近くで働くことのできる職住近接のまちづくりを検討することとしています。</p>

アクションプログラム策定についての進め方 8件

御意見要旨	検討会（事務局）の考え方
<p>(検討会の進め方、アクションプログラム策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討会は（まちづくりにとって）対症療法であり、機能しない。住民任せな取組ではニュータウンの未来が開けない。 検討会での議論は「住民不在」。回覧等も素通りされている。各自治会に持ち帰って周知、議論をすべき。各戸の住民に情報提供すべき。課題に関わる機会がない。意見募集は「参考」とするためとあるが、これではどちらが主役か分からない。行政に白紙委任した覚えはない。 自分たちの住むまちのまちづくりは自分たちで行いたい。行政・その他の団体は支援をする考え方が必要。市民の意見を言える場がもっと必要（8月のまちづくりトークと今回だけ）。 	<ul style="list-style-type: none"> 洛西ニュータウンでは、平成18年11月に「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」が策定された後、住民主体によるまちづくり活動が盛んに行われるようになってきているものの、この10年においても人口減少・少子高齢化の急速な進展に歯止めがかかっておらず、地域全体の活力の低下している一方、施設等の老朽化なども進んでいる状況です。 このため、平成28年4月から、住民の皆様を始めとして、地域で活動しているNPO団体、事業者、行政等が参画する洛西ニュータウンアクションプログラム検討会において、「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」の理念のもと、今後どのような取組を喫緊に、重点的に行う必要があるのかについて、検討を重ねてきました。 検討会では、「どの主体が、いつ、何をするのか」といった具体的な取組内容を検討するため、7つの分野別WGを設置し、幅広く御参加をいただきながら議論を進めています。 また、ニュータウン内にお住まいの全ての方を対象として、「まちづくりトーク」を開催し、まちづくりに向けた話し合いを行ったほか、検討会での議論の内容は「洛西ニュータウンまちづくり通信」を発行（現在、第4号まで発行）してお知らせしてきました。特に、まちづくり通信第4号では、その時点でのアクションプログラムの検討状況を取りま

御意見要旨	検討会（事務局）の考え方
<p>(まちづくりビジョンとの関連性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 18 年策定のまちづくりビジョンの総括を行い，推進できたもの・できなかったものを明確にし，住民に周知したうえで推進できなかったものを再度アクションプログラムに掲げるべき。 <p>(検討会，WG)</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討会委員に公募委員を募集しなかった。また，WG メンバーの公募がなかった。どのように人選したのか。「新たな交通システムの検討」のメンバーは検討会等に入っているのか。検討会や WG の開催日時等についての住民への周知不足。十分行われていない WG がある。 	<p>とめてお知らせし，御意見を広く募集しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> このように，検討会では，ニュータウン内にお住まいの皆様から御意見をいただき，これを基に検討を進め，第 4 回検討会資料として，アクションプログラム（案）を取りまとめています。 「まちづくりビジョン」に掲げられた取組を確認すると，サブセンターを始めとする既存ストックの有効活用や，タウンセンターの活性化，高齢者・子育て支援活動の充実・ネットワーク化などとともに，対外的な魅力発信などは，今後，アクションプログラムにおいて特にしっかりと取り組んでいくべきものと考えています。また，取組全体を進捗管理する主体が必要と考えています。 アクションプログラムの策定を検討するに当たっては，第 1 回検討会で「まちづくりビジョンの理念を踏襲しつつ，具体的な施策・事業を整理し，実施主体を具体的に想定した「プログラム」とする」こととしており，この考え方に基づいて検討を進めています。 検討会委員については，アクションプログラムの策定に当たって必要と考えられる学識経験者（アドバイザー），地域団地等，NPO 法人等，事業者及び大学，関係機関及び行政の各分野の方々に，就任を依頼しました。 また，WG メンバーは，「誰が，何を，いつ，どのようにやるか」という具体的な検討するため，まずは検討会で持ち寄った情報を基に実際に活動されている団体の方々へお声掛けし，集まっていただきました。

御意見要旨	検討会（事務局）の考え方
<p>(意見募集)</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を広く求めたことは評価できる。しかし、どのように活用されるかは不明であり、意見集約の結果を返してほしい。 まちづくり通信第4号の文章が長く難しいので、もっとわかりやすい内容にすべき。 回覧では意見をかけない。 	<p>その後、課題整理をする過程を経て、WGは原則公開として開催し、取組の主体となっていたただける方をメンバーとして増やししながら、検討を重ねてきました。</p> <p>住民の皆様のお意見を伺うという点については、公募という形ではなく、まちづくり通信による意見募集等、様々な機会を通じて幅広く行っているところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> WGの開催案内方法について、当初は固まっておりましたが、現在は、一度御参加いただいた方には個別に御連絡しているほか、ホームページ京都市情報館や洛西支所での掲出等することとしています。 WGの開催回数については、ばらつきがありますが、課題の整理に時間を要したり、他のWGの検討状況を踏まえて検討を開始する方が合理的であったりしたためであり、必要な準備・検討を進めてきました。また、来年度以降も検討を継続する必要がある案件もあり、その旨をアクションプログラムに明記することとします。特に、タウンセンター・サブセンター施設活用WGについては、今後、サブセンターの有効活用方策に係るアンケートを実施する予定であり、それも踏まえるなどして、具体的な検討を継続していきます。 アクションプログラムは、住民の皆様を始めとして様々な主体の役割分担により策定するものであることから、いただいた御意見を踏まえて、アクションプログラムの策定を進めていきます。意見集約の結果は、次号のまちづくり通信でもお知らせする予定です。 まちづくり通信第4号の作成に当たっては、できる限り読みやすいものとなるよう努めました。配布時点におけるアクションプログラム検

御意見要旨	検討会（事務局）の考え方
	<p>討状況の全体像を正確にお示しすることが重要であったため、申し訳ありませんが、分量が多く、また、一部で専門的な言葉を用いることになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の方々にアクションプログラム検討の取組をお知らせするために、まちづくり通信と同様、全戸回覧により洛西支所管内の全戸に行き渡るよう努めました。

アクションプログラム全体その他各方針には該当しない意見等 12件

御意見要旨	検討会（事務局）の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 住みやすい街は、教育、交通、買い物、医療等が充実すべき。 住民任せな取組で、ニュータウンの再生や京都市全体の発展が可能と思っているのではないだろうか。 検討事項の多くが抽象的なので、具体的な検討が必要であり、具体的な行動が必要。 網羅的に記載されているので、実現性の高低が見えにくいように感じる。 世帯数・人口、少子高齢化率等の洛西 NT の全体像を定期的に公表し、その要因分析を。 	<ul style="list-style-type: none"> アクションプログラムには、御指摘の点を方針、テーマ、プログラムとして盛り込んでいます。 アクションプログラムは、様々な主体が一体となって検討し、また、それぞれが役割を担いますが、あくまでも主役は住民の皆様であり、地域のためのアクションプログラムと考えています。 まちづくり通信第4号の時点から、アクションプログラム（案）を策定する過程において、できる限り、誰が、何を、どのようにするのかについて具体的に記載するよう努めました。 アクションプログラムの策定に向けては、洛西ニュータウンにおける人口減少・少子高齢化等の状況を分析のうえ、課題の整理を行ってきました。また、その内容については、策定するアクションプログラムでも明らかにしていきます。

御意見要旨	検討会（事務局）の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算的には無理だろうが、桂川周辺のような開発をしない限り、若い世代を呼び込むことは無理では。芸大移転等、ますます洛西はさびれていくように感じる。 ・ 若者にとってメリットとなる計画が一つも無い。ニュータウン内に洋服等を買う店がなく不便。アウトレット等をつくってほしい。 ・ 新しい人ではなく、生まれ育った人が帰ってくるまちにしてほしい。 ・ 防災の柱立てとプログラムがない。自主防災組織による活動は一部の人に留まっており、参加の輪を広げていく取組が必要。 ・ ごみをカラスやネコに突かれぬようなコンテナの設置を望む。 ・ 大型車のNT内道路の通り抜けの通行規制を望む。 ・ 京都はサブカルチャーにも強いイメージがあるので、洛西NTでも思いつてそういう提案をしてもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タウンセンターの観光拠点機能づくり等を通じて、商業施設の活性化を図っていききたいと考えています。 ・ また、若者向け取組として、「子育て・若者世代といった若年ファミリー層の呼び込み・定住促進」、「若い世代が訪れたいくなるようなまちの魅力の充実とともに、働く場所の創出など」が必要と考えており、これらの視点に基づく取組を進めていききたいと考えています。これにより、生まれ育った人に戻ってきてもらえるまちづくりを進めたいと考えています。 ・ アクションプログラムは、洛西ニュータウンにおける地域固有の課題の取組の方向性を定め、今後、喫緊に実施していくべき具体的な事業等を取りまとめようとするものであることから、それ以外の地域等でも対応が必要と考えられる一般的な課題、京都市内全体における課題等は、それぞれの主体において個別に対応を図っていくものと考えており、住民の皆様からの御意見を所管する機関等に伝えていきます。 ・ サブセンターの活性化に繋がる有効活用の推進として、文化・芸術分野等との連携を掲げています。

推進体制 6件

御意見要旨	検討会（事務局）の考え方
<p>(住民を中心とした推進会議の設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冊子に記載されていることが一つでも多く実現できるように期待している。 ・ 進行管理を行う協議会は、住民中心となるよう各学区等の自治会関係者が半数程度を占めるようにしてほしい。自治連合会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクションプログラム策定後、これに位置づけた各事業の推進を図るために、アクションプログラムの進捗を継続的に確認するための場が必要と考えています。このため、各学区等の自治会関係者の方の御参加もいただいている検討会の構成を基本として、洛西ニュータウンのまちづ

御意見要旨	検討会（事務局）の考え方
<p>等が策定した指針等に基づく活動をしており、プログラムの内容も多く含むので、まずはこの活動支援を。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学区ごとに住民参加型の協議会を設置。 地域の人材（社会福祉士等）の活用を望む。また、社協など現在地域福祉を担っているところとの関連を明確にしてほしい。 推進会議における数年おきの効果測定が実施されると、より分かりやすく住民に伝わるし、安心感が生まれる。 <p>（まちづくり会社）</p> <ul style="list-style-type: none"> NPO 法人型のまちづくり会社設立の検討は必要。 	<p>くりに関連する多様なセクターが参加する「洛西ニュータウンアクションプログラム推進会議（仮称）」を設置することとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> アクションプログラムの推進に当たっては、一人ひとりの住民の皆様や地域団体、住民組織の皆様、地域に立地する事業者、教育機関、行政など、洛西ニュータウンに関わる全ての主体がそれぞれの役割をもって、共に連携・共同して取り組むこととしております。 どのようにしてアクションプログラムの進捗を確認していくかについても、推進会議において検討していくこととしたいと考えております。 <ul style="list-style-type: none"> アクションプログラムに位置づけた各事業を地域の力で継続的に実施するためには、人的サポート、団体間のコーディネート、資金的サポートなどを確保することのできる、地域が主体となったまちづくり組織（まちづくり会社）が必要と考えています。 <p>まちの課題解決のためのコミュニティビジネスの収益を確保しながら行い、得られた収益を、その他の課題解決に向けた活動などに還元するとともに、効果的な事業実施を目指した団体間のネットワークづくりや人材育成、調査業務など、実施できる体制の構築を検討していきます。</p>